

令和5年度 福祉のまちづくり推進事業について（報告）

1 福祉のまちづくり推進事業

(1) 横浜市福祉のまちづくり推進会議等の開催

- ・横浜市福祉のまちづくり推進会議の開催（2回）
- ・横浜市福祉のまちづくり推進会議専門委員会の開催（4回）
～横浜市福祉のまちづくり条例の改正案の検討を行い、専門委員会案を取りまとめました。
あわせて、事前協議の際、合理的配慮の提供をはじめとしたチェックシートの内容を検討するための作業部会を開催（5回実施）しました。

(2) 条例対象施設についての事前協議・相談等（通年）

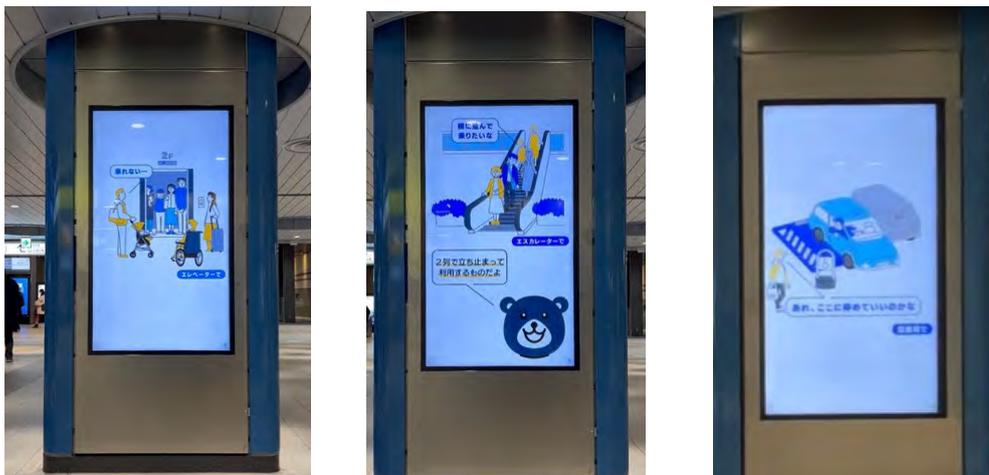
横浜市福祉のまちづくり条例の対象となる施設を新設又は改修する際に、安全かつ円滑に利用できるようにするため、事前協議等を実施。

（参考）令和5年度協議終了件数 666件

(3) 福祉のまちづくり普及啓発

ア 福祉のまちづくり推進指針PR動画の放映

新横浜駅に設置されているデジタルサイネージに『ふくまちガイド実践編』の概要を紹介した15秒の動画を放映しました。



イ 子どもリーフレットの作成

福祉のまちづくり推進会議小委員会のメンバーをはじめ、有識者、教育機関関係者との協議・検討を重ね、小学4年生向けのリーフレットが完成しました。

今年度は教員向けの説明資料を作成し、試験的に授業で活用して頂く予定です。



ウ 新採用職員研修の実施（総務局主催）

横浜市職員として市民と接する上で必要な「福祉の視点」を養うことを目的に実施。

- ① 日 時：令和5年4月3日（月）
- ② テーマ：「インクルーシブなまちづくり」
- ③ 講 師：和久井 真糸 氏（福祉のまちづくり推進会議委員）
萩原 昌子 （横浜市職員）
古川 実利 （横浜市職員）
- ④ 受講者：新卒・社会人・技能職員採用 約700人

エ 横浜市職員及び市内の建築関係者を対象に、福祉のまちづくり条例、同条例施行規則における基本理念の学習とともに、セミナー、車いすを用いたフィールドワークを通して、施設整備基準の根拠を理解し、実際の業務に反映させていくことを目的に実施しました。

【開催概要】

- ① 日 時 1日目：令和5年11月8日（水） 13時00分～17時00分
2日目：令和5年11月9日（木） 13時00分～17時00分
- ② 会 場 横浜市庁舎1階 市民協働推進センター スペースA・B
- ③ 受講者 合計40名（1日目：19、2日目：21名）
※ 受講者内訳 本市職員…30名、市職員以外…10名
（うち事務8名、建築名、土木11名、造園7名、機械1名）
建設・設計会社10名、その他3名）
- ④ 内 容
 - ・トイレセミナー（TOTO）
 - ・車いすユーザーによる動作寸法のデモ+車いす体験
 - ・車いすユーザーによる講話
 - ・グループワーク

（写真）当日の様子



エ 関東学院大学出前講座

関東学院大学社会学部の「KGU キャリアデザイン入門」の授業のなかで、「ふくまちガイド」を使った説明を行いました。（令和5年7月10日実施）

(4) 本市後援事業

ア 関内まちづくりユニバーサルデザイン勉強会

(主催：NPO 法人横濱ジェントルタウン倶楽部 令和5年10月19日、11月14日開催)

関内駅前の再開発など新たなまちづくりが展開される機会をとらえ、再開発地区やその周辺のエリア一帯でのまちづくり計画・構想などを学び、誰もがわかりやすく、行動しやすいまちにするためのアイデアや提案を話し合いました。

また、まち歩きやワークショップを通じて、事業者の方々も無理なく合理的な範囲で対応できるユニバーサルデザインのまちづくりのあり方を考えました。



イ ホッチポッチマーケット&ミュージックフェスティバル2023

(主催：ホッチポッチミュージックフェスティバル実行委員会

(事務局：NPO 法人アークシップ) 令和5年11月3日、4日 開催)

「みんなちがって みんないい」をキャッチフレーズに、国籍・世代・性別・障がいの有無など関係なく集い、音楽のチカラで「つながる」ことを目的にした音楽祭で、これあわせて、ワークショップや企業、キッチンカーの出展なども行われました。



2 ノンステップバス導入促進補助事業

車いす使用者、高齢者、障害者やベビーカー利用者など誰もが乗降しやすいノンステップバスの導入を促進するため、横浜市内に営業所をもつ民営バス事業者に対し、導入に係る経費の一部を補助しています。

・令和5年度補助台数：27台

(参考：市内バス事業者のバス保有台数とノンステップバス導入率)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
保有台数(台)	1,578	1,572	1,595	1,619
導入率(%)	79.2%	79.8%	81.7%	82.9%

3 鉄道駅舎エレベーター等設置事業

高齢者・障害者を含むすべての人が生活し、活動しやすいまちづくりを推進するため、移動の拠点となる鉄道駅舎において鉄道事業者がエレベーターを設置する際に、経費の一部を補助しています。

・令和5年度は新規の補助は行っていません。

(参考)

○ 横浜市内全駅における段差解消駅

	市内全駅(160駅)	
	段差解消駅数	進捗率
令和5年度末 現在	154駅	96.3%